

カネリ・プルネリ楽団 出演者プロフィール

■ モボ島参助 (山田参助)

漫画家・歌手。代表作「あれよ星屑」（第23回手塚治虫文化賞新生賞／第48回日本漫画家協会賞大賞コミック部門）「新やる気まんまん オット！どっこい」。音楽では「泊」「誰が戸を叩く」「GO TO HELL」などのバンドで活動。2021年「ぐらもくらぶ」主宰保利通の企画による戦前流行歌の録音状況の再現を試みたCD「大土蔵録音2020」（34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞ポピュラー部門最優秀作受賞）に歌唱参加。2023年「『多摩川団地音頭』復元プロジェクト」の新録音に歌唱参加。マクドナルドTVCM「朝マック」にて杉並児童合唱団をコーラスに、メイン歌唱を担当。

[▶山田参助 X](#)

[『あれよ星屑』完結記念 山田参助さんインタビュー（前編）](#)

[『あれよ星屑』完結記念 山田参助さんインタビュー（後編）](#)

■ モガ峰繭子 (まゆたん)

東京都生まれ・中央線育ちのシンガーソングライター。武蔵野美術大学卒。でんせつの女の子バンド「マサ子さん」のVo.を担当。TBS音楽番組イカ天に出演後、ナゴムレコードよりリリース。主題歌の作詞作曲及び花子さんの声を担当しているアニメ番組『学校のコワイわさ 花子さんがきた！！』が、2024年にポンキッキーズでの放映開始30周年を迎えた。現在はボイスパフォーマンスとトイミュージックのユニット「アマカシノカ」を主宰。フランスのミュージシャン「KLIMPEREI」とのコラボや「珍しいキノコ舞踊団」の舞台音楽を手掛ける。また、ニューウェーブバンド「applehead」でピノクの着ぐるみボーカルを担当し、フランスのレーベル

「SONORE」よりアルバムデビュー。日本の叙情歌やオリジナル歌曲を中心に演奏会を行うユニット「ribbon ga noka」としても活動し、旧前田邸での演奏会DVDをリリースした。

[▶まゆたん X](#)

■ 青木研

バンジョー奏者。1978年千葉県流山市出身。7歳頃、二村定一などの唄う「ジャズ小唄」（君恋し、私の青空、アラビヤの唄）をはじめとする、蓄音機やそこから流れる戦前音楽に親しみ、それらの曲に使われていたバンジョーのサウンドに特に強い魅力を感じる。13歳で初めてバンジョーを手にしてから、ディキシーランドジャズで使われる4本弦のバンジョー（テナーバンジョー、プレクトラムバンジョー）をほぼ独学でマスターする。千葉県柏の東葛飾高校在学中より演奏活動をスタート。ライブハウス、ホール、イベント、テーマパーク、ホテル、レストラン、客船、内外ジャズフェスティバルやバンジョーフェスティバル、ラジオ、TV等で演奏。2010年、アメリカ・サンノゼのバンジョー大会にヘッドライナーとして、2011年、FIGA主催の全米バンジョーコンヴェンションに、2013年はハンガリーで開催されたジャズフェスティバルにソリストとして招聘される。バンジョー主体の演奏の他、数多くのディキシーランド／スイングジャズの演奏家をはじめ、ブルークラス、ジャグバンド奏者、管弦楽団、吹奏楽団との共演、ソリスト、歌手等のサポートなど多種のステージを通し、楽しげなステージングと華麗なテクニクで観客を魅了している。米JAZZ BANJO MAGAZINE、ALL FLETS,オランダBN/DESTEM誌、ジャズ批評社「ジャズ批評」JAZZLIFE誌、等で特集記事が組まれる。バンジョー奏法は、ディキシーランドジャズのスタイルはもちろん、当初からバンジョーソ口系の、エディー・ピーバディ、ハリー・リーサー、ペリー・ベクテルをはじめ、あらゆる奏者からの影響を受ける。日本では数少ない、ソリストとして演奏することのできるバンジョー奏者。

▶[青木研サイト](#)

■ 後藤沙紀

ピアニスト。1990年7月9日 A型 岡山県岡山市生まれ。3歳からヤマハ音楽教室に通いピアノとエレクトーンを学ぶ。高校生の頃からジャズピアノに興味を持ち洗足学園音楽大学ジャズコースへの入学

を決意。入学と同時に上京。在学時はピアノ奏法をユキアリマサ氏に師事。また学内選抜バンド”get jazz orchestra”でコンサートミストレスを務め、第43回山野ビッグバンドコンテストにて第2位を受賞。卒業後は、首都圏を中心にライブハウスでの演奏、レストランや披露宴等でBGM、講師活動など多岐にわたるジャンルで活動。自己のユニット「ごさきりかこtrio(Ds.鈴木梨花子、Bs.寺尾陽介)」Latin音楽を幅広くお届けする「Mix Vegetais(Fl.小川恵理紗、Perc.櫛田満)」を筆頭に、「新谷健介オノマトペ」「GG Quartet」「ごちまきtrio」等様々なバンドに所属。第34回浅草ジャズコンテスト バンド部門において「新谷健介オノマトペ」でグランプリ、浅草ジャズ賞を受賞。

[▶後藤沙紀サイト](#)

■ 寺尾陽介

ベーシスト、コントラバス奏者。明治大学入学後、「ビッグ・サウンズ・ソサエティ・オーケストラ」に所属、コントラバスをはじめ。コントラバスを安カ川大樹氏に師事。これまでにジャズコンボ、ビッグバンドを中心に若手からベテランまで数多くのミュージシャンと共演。近年ではジャズに留まらず、アーティストサポート、ミュージカルの演奏にも精力的に取り組んでいる。またSteve Wilson氏(sax)、Douglas Purviance氏 (btb)、John Mosca氏 (tb)、Dennis Mackrel氏(dr)、Carl Saunders氏 (tp)、Vladimir Shafranov氏 (pf) など海外のミュージシャンとの共演、レコーディングにも参加している。2019～2021年まで単身渡米、ニューヨークで研鑽を積む。2021年から再び日本で活動再開。

[▶寺尾陽介ブログ](#)

■ 佐藤梟

女優・歌手・アーティスト。梟のリサイタルンバ、舞台teamUZU.UZU、梟おぼちゃんのレトロ紙芝居劇場&歌謡SHOWなど、様々なユニットや舞台を手掛ける。【DVD】実録!命知らずのグ

ンバツ映像集 よりぬきへんないきもの へんないきもの【映画】
バサラ人間【舞台】千一夜物語 人魚姫 宝島 等に出演。

▶[佐藤梟 X](#)

■ 入江規夫

民族楽器アーティスト

1982年生まれ。小さな頃から歌うことが大好きで、自然の音が聞こえてくるような感覚を抱きながら育つ。

大学生のときにアフリカの太鼓(ジャンベ)と出会い、音の響きの中で、自然とのつながりを強く感じるようになる。それから、人と自然が織りなす音楽、様々な民族楽器や、沖縄、奄美大島の島唄に興味を持つ。

『slow earth music 地球とつながる音楽』をテーマにカリンバ、ジャンベ、ウクレレ、三線、ギターなどの楽器とともに、心に響く歌をうたう。

(当企画主催・むさしの歌謡愛好会のメンバー)

▶[入江規夫サイト](#)